

## 平成28年度 指定管理者年度評価シート

### 1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市大宮学園
条例上の設置目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号。)第6条の2の2第1項に規定する障害児通所支援を行う
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	障害児療育の専門性を高め、質の高い療育を提供し、心身の健やかな発達や集団生活への適応を支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	心身に障害のある児童または心身の発達に遅れのある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行うこと。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、市民サービスの向上と管理経費の縮減の効果を見込んでいます。
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度
数値目標※	① 定員充足率9割以上 ② 利用者アンケートにおける満足度9割以上
所管課	保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

### 2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人千葉市社会福祉事業団
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年)
選定方法	非公募
非公募理由	次の理由により、公募の方法によらず千葉市社会福祉事業団を指定管理者とした。 (1) 専門性の高いスタッフの確保 医師や専門職によるサービスの提供が求められるため、専門性が高く、スタッフの確保が困難である。 (2) 利用者等との信頼関係 利用者及びその保護者と現在の指定管理者との信頼関係が構築されている。 (3) より質の高いサービス提供 これまでの経験を踏まえた、より質の高いサービス提供が期待できる。
管理運営費の財源	指定管理料

### 3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H28年度実績	達成率※
施設利用者数	定員充足率90%以上	定員充足率83.7%	93.0%
利用者アンケートにおける利用者	満足度90%以上	満足度91.3%	101.4%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	H28年度実績
施設利用者数	延べ12,708人

#### 4 収支状況

##### (1) 必須業務収支状況

###### ア 収入

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
指定管理料	実績	271,674	268,191	実績－計画	△ 12,078	人件費の返戻
	計画	283,752	274,130	計画－提案	△ 5,116	
	提案	288,868	273,540			
その他収入	実績	11,219	9,026	実績－計画	11,219	拠点区分間繰入金収入
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	282,893	277,217	実績－計画	△ 859	
	計画	283,752	274,130	計画－提案	△ 5,116	
	提案	288,868	273,540			

###### イ 支出

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
人件費	実績	200,414	198,282	実績－計画	△ 9,006	育休取得職員1名
	計画	209,420	200,297	計画－提案	△ 3,567	
	提案	212,987	192,828			
事務費	実績	12,001	10,773	実績－計画	△ 778	本部経費按分率の変更
	計画	12,779	11,786	計画－提案	△ 312	
	提案	13,091	9,216			
事業費	実績	15,804	16,043	実績－計画	△ 2,165	水道光熱費削減
	計画	17,969	17,885	計画－提案	△ 972	
	提案	18,941	16,354			
委託費	実績	35,906	36,323	実績－計画	△ 516	契約差金
	計画	36,422	36,414	計画－提案	0	
	提案	36,422	40,494			
その他	実績	12,183	6,381	実績－計画	5,965	人事異動に伴う退職給付引当資産の増
	計画	6,218	6,702	計画－提案	△ 265	
	提案	6,483	156			
本社費・共通費	実績	5,806	18,954	実績－計画	4,862	拠点区分間繰入金支出の増
	計画	944	1,046	計画－提案	0	
	提案	944	14,492			
合計	実績	282,114	286,756	実績－計画	△ 1,638	
	計画	283,752	274,130	計画－提案	△ 5,116	
	提案	288,868	273,540			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

千葉市社会福祉事業団の各事業（指定管理事業、委託事業）予算額に応じて按分。

## (2) 収支状況

(単位：千円)

		H28年度	【参考】H27年度
必須業務	収入合計	282,893	277,217
	支出合計	282,114	286,756
	収 支	779	△ 9,539
総収入		282,893	277,217
総支出		282,114	286,756
収 支		779	△ 9,539
利益の還元額			
利益還元の内容			

## 5 管理運営状況の評価

## (1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
定員充足率9割以上	C	
利用者アンケートにおける満足度9割以上	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。  
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）  
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）  
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満  
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満  
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

## (2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	B	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。  
 A：選定時の提案額から10%以上の削減  
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減  
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減  
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)  
 -：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
<b>1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理</b>				
	市民の平等利用の確保	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉市大宮学園設置管理条例及び管理規則に基づき、適切に施設管理を行った。</li> <li>危機管理計画・事故対応マニュアル等を整備した。</li> <li>毎月避難訓練を実施した。</li> </ul>
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
<b>2 施設管理能力</b>				
	<b>(1) 人的組織体制の充実</b>	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な職員数を安定的に確保した。</li> <li>職場内研修及び外部研修等の受講を推進した。</li> </ul>
	管理運営の執行体制			
	必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
	<b>(2) 施設の維持管理業務</b>	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常点検・定期点検を適正に実施した。</li> </ul>
	施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
<b>3 施設の効用の発揮</b>				
	<b>(1) 幅広い施設利用の確保</b>	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置管理条例及び管理規則に基づき、開館時間及び休館日を遵守した。</li> </ul>
	開館時間・休館日 利用促進の方策			
	<b>(2) 利用者サービスの充実</b>	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ルームにおいてアンケートを年2回実施した。</li> <li>意見箱を常置した。</li> </ul>
	利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
	<b>(3) 施設における事業の実施</b>	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主事業として継続して実施している通園児兄弟・姉妹預かり事業の利用者数が増加した。 H27：86人→H28：95人</li> </ul>
	施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
<b>4 その他</b>				
	市内業者の育成	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に市内業者を利用した。</li> </ul>
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。  
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。  
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。  
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。  
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
利用児の定員管理への対応や事業報告書について、年ごとの特色や、取組みに対する評価が具体的に確認できるものとなるよう一層の改善を求める	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉市と協議した結果、医療型児童発達支援センター向けのこルームの定員を20名から10名へと変更しました。</li> <li>また、事業報告書の書式を事業団全体で改め、項目に「年度の総括（評価）」を新たに設けました。</li> </ul>

## 6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	各施設にてアンケート用紙を保護者に配布し、施設利用時に回収（年2回）
	回答者数	延べ298名
	質問項目	・職員対応について ・保育（療育）内容について ・個別面談について ・学習会・お話し会について ・個別指導について等
結果	<b>ア ひまわりルーム（福祉型児童発達支援センター）</b>	
	前期配布数43、回答数33 回答率76.7%	
	(1) 職員の対応は適切だったか：とてもそう思う17人(52%) そう思う15人(45%) どちらでもない1人(3%)	
	(2) 療育内容は合っていたか：とてもそう思う13人(39%) そう思う17人(52%) どちらでもない3人(9%)	
	(3) 個別面談は適切だったか：とてもそう思う16人(48%) そう思う15人(46%) どちらでもない2人(6%)	
	(4) 保護者向け学習会は参考になったか：とてもそう思う16人(48%) そう思う14人(43%) どちらでもない2人(6%) あまりそう思わない1人(3%)	
	後期：配布数42、回答数38 回答率90.5%	
	(1) 職員の対応は適切だったか：とてもそう思う27人(71%) そう思う10人(26%) どちらでもない0人(0%) あまりそう思わない1人(3%)	
	(2) 療育内容は合っていたか：とてもそう思う19人(50%) そう思う18人(47%) どちらでもない1人(3%)	
	(3) 個別面談は適切だったか：とてもそう思う19人(50%) そう思う16人(42%) どちらでもない2人(5%) あまりそう思わない1人(3%)	
(4) 保護者向け学習会は参考になったか：とてもそう思う16人(48%) そう思う14人(43%) どちらでもない2人(6%)		
<b>イ たけのこルーム（医療型児童発達支援センター）</b>		
前期配布数19、回答数15 回答率78.9%		
(1) 職員の対応は適切だったか：とてもそう思う8人(53%) そう思う7人(47%)		
(2) 保育内容について		
1) 午前保育は利用児が楽しめていたか：とてもそう思う5人(33%) そう思う10人(67%)		
2) 午後保育は利用児が楽しめていたか：とてもそう思う4人(27%) そう思う5人(33%) 無回答6人(40%)		
3) 分離保育は利用児が楽しめていたか：とてもそう思う3人(20%) そう思う6人(40%) どちらでもない1人(7%) 無回答1人(5%)		
4) 個別支援計画は納得できたか：とてもそう思う7人(47%) そう思う7人(47%) どちらでもない1人(6%)		
(3) 個別指導(PT・OT・ST・心理)は満足だったか：とてもそう思う7人(47%) そう思う4人(27%) どちらでもない2人(13%)		
(4) 保護者向け学習会は参考になったか：とてもそう思う6人(40%) そう思う6人(40%) どちらでもない3人(20%)		
後期配布数25、回答数19 回答率76%		
(1) 職員の対応は適切だったか：とてもそう思う12人(63%) そう思う7人(37%)		
(2) 保育内容について		
1) 午前保育は利用児が楽しめていたか：とてもそう思う11人(58%) そう思う7人(37%) 無回答1人(5%)		
2) 午後保育は利用児が楽しめていたか：とてもそう思う7人(37%) そう思う4人(21%) 無回答8人(42%)		
3) 分離保育は利用児が楽しめていたか：とてもそう思う7人(37%) そう思う2人(11%) 無回答10人(52%)		
4) 個別支援計画は納得できたか：とてもそう思う12人(63%) そう思う4人(21%) どちらでもない2人(11%) 無回答1人(5%)		
(3) 個別指導(PT・OT・ST・心理)は満足だったか：とてもそう思う9人(47%) そう思う7人(37%) どちらでもない2人(11%)		
(4) 保護者向け学習会は参考になったか：とてもそう思う5人(26%) そう思う7人(37%) どちらでもない1人(5%) 無回答6人(32%)		
<b>ウ たけのこルーム（児童発達支援事業）</b>		
前期配布数137、回答数96 回答率70.1%		
(1) 職員の対応は適切だったか：とてもそう思う65人(68%) そう思う28人(29%) どちらでもない3人(3%)		

(2) 療育内容について

- 1) 療育内容は合っていたか：とてもそう思う41人(43%) そう思う48人(50%) どちらでもない6人(7%)  
2) 個別支援計画は納得できたか：とてもそう思う45人(47%) そう思う40人(42%) どちらでもない6人(7%)  
無回答5人(4%)

- (3) STのお話し会は満足だったか：とてもそう思う28人(29%) そう思う36人(38%) どちらでもない4人(4%)  
未参加25人(26%) 無回答3人(3%)

**後期配布数155、回答数97 回答率62.6%**

- (1) 職員の対応は適切だったか：とてもそう思う63人(65%) そう思う33人(34%) どちらでもない1人(1%)

(2) 療育内容について

- 1) 療育内容は合っていたか：とてもそう思う46人(47%) そう思う44人(45%) どちらでもない6人(6%)  
無回答1人(1%)

- 2) 個別支援計画は納得できたか：とてもそう思う44人(45%) そう思う49人(51%) どちらでもない2人(2%)  
無回答2人(2%)

- (3) STのお話し会は満足だったか：とてもそう思う32人(33%) そう思う33人(34%) どちらでもない3人(3%)  
未参加26人(27%) 無回答3人(3%)

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
【指定管理者への意見】 個別支援計画の面談時間を長くして欲しい。	面談時間を従前より長く確保し、それ以外にも面談希望者とは随時面談を行った。結果、保護者の育児に対する不安の軽減や保護者のニーズに沿った情報提供が出来た。
【指定管理者への意見】 子どもへの関わりや将来について不安である。	専門職による勉強会やOB保護者による講演会を実施した。結果、子どもとの関わりや青年になった障害者の方の講話は参考になり貴重な機会だったという感想を多数頂けた。
【指定管理者への意見】 親と離れて保育士やお友達との小集団活動をより増やして欲しい。	1対1で実施していた分離保育を2人の職員で3人の利用児に対応する機会を設け、親子分離の小集団活動の回数を増やした。結果、利用児の経験が拡がり、保護者の負担が軽減された。
【指定管理者への意見】 児童発達支援事業において、指導員による子育てについての話を聞きたい。	要望に応え、グループ毎に講習会を開き保護者の質問に答えた。結果、保護者の子育てに対する不安を軽減する事が出来た。

## 7 総括

### (1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<p><b>施設全般</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に沿って概ね計画どおり運営できた。</li> <li>・施設維持管理については法令等に基づき点検等を実施し、必要に応じ順次修繕を実施し、利用児が安全かつ快適に施設利用できる状態を維持した。</li> </ul> <p><b>ひまわりルーム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療育の結果、多様な環境や他児との関わりの中で生活することが好ましいまでに成長した児童に対して、安心して地域の保育所・幼稚園に移行できるよう保護者向け移行支援プログラムの充実を図り、更に移行希望の保護者には随時面談を実施して移行の支援を行い、結果として3名の児童が幼稚園等に移行する事が出来た。</li> <li>・子育て支援や生活支援に繋がる保護者勉強会やOB保護者による講演会を積極的に開催し、より保護者が主体性を持って子育て出来るように保護者支援の充実に努めた。</li> <li>・関係機関（養護学校・特別支援学校・育成会等）との交流及び卒園児支援の一環として、運動会・文化祭等に参加し卒園児の様子を把握すると共に卒園児保護者への支援、関係機関との連携強化に努めた。</li> <li>・養護教育センターと連携を図り就学支援の強化に努めた。</li> </ul> <p><b>たけのこルーム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療型児童発達支援センターの定員を20名から10名に変更し療育の充実を図った。</li> <li>・4歳児・5歳児を対象として、保護者と離れ他の大人と過ごす経験を積むための分離保育を引き続き実施した。</li> <li>・保護者との面談や日々の対話の中で療育活動の重要性を訴え、また保護者の悩みや相談を受けて保護者支援に努めた結果、保護者に日々の療育活動の意義を理解して頂き、利用増に繋がった。</li> <li>・児童発達支援事業においては、利用児が通っている保育所・幼稚園等に職員が出向き、児への関わり方や支援の方法について情報の提供をするなど、引き続き連携強化に努めた。</li> <li>・また、引き続き療育時間以外にも保護者からの相談等に可能な限り対応して保護者支援に努めた。</li> </ul>
----------	---	----	--

### (2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に基づき適切に管理運営を行っている。</li> <li>・ひまわりルームにおいて、幼稚園等へ移行を希望している保護者へ移行支援を行い、3名が幼稚園等へ移行した。</li> <li>・ひまわりルームにおいて、保護者との面談時間を前年度より長く設定し、育児不安の軽減に努めた。また、保護者勉強会の実施回数を増やし、保護者支援の充実に努めた。 (平成27年度10回→平成28年度20回)</li> <li>・たけのこルーム医療型児童発達支援センターにおいて、分離保育の対象児を増やし、保護者の負担軽減及び利用児の経験拡大に努めた。</li> <li>・たけのこルームにおいて、療育時間以外にも保護者からの相談に対応するなど、保護者支援に努めた結果利用者が増加した。 (H27:3, 696人→H28:4, 320人)</li> <li>・特別支援学校や保育所等関係機関との連携強化に努めた。</li> </ul>
----------	---	----	---

#### 【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。  
 B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。  
 C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。  
 D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。  
 E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

### (3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
- ・管理運営については、今後もサービス内容の多様化に取り組んでいただきたい。